

【第3章】計画の運用

1 . 計画運用の考え方

本計画は、以下の考え方に基づき運用していきます。

総合計画との連携

「地域活性化」は、今後のまちづくりにおいて、最も重要な取り組み課題であることから、町の最上位計画である「栄町総合計画」と連携・連動し、一体的な推進を図ります。

確実な実行と進行管理

計画が「計画」のまま終わらぬよう、効果的に資源を集中投入し、確実にプロジェクトを実行します。町職員は、本計画の実行を自らの使命と認識し、責任をもって行動します。また、計画の確実な実行を担保するために、行政経営システムとの一体的な運用で定期的に計画の進捗状況を確認し、適切に進行管理を行います。

町民との協働による計画の推進

「地域活性化」は、町の産業や町民の暮らしに直結する課題であり、行政が持つ資源（予算や職員の労働力）はもとより、地域のポテンシャル、資源の強みを生かすことではじめて実現できるものです。町全体で本計画を理解・共有し、町民、住民団体、事業者、行政等の力を結集し、協働により計画を推進します。

説明責任の遂行

計画の進捗状況については、定期的に公表します。また、社会経済環境の変化や制度変更によって、計画の軌道修正が生じた場合には、町民にわかりやすく説明します。